
ドラえもん のび太のバイオハザード OVERKILL Ver1.5

sHid

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ドラえもん のび太のバイオハザード OVERKILL ve

「1・5

【Zコード】

Z0791BA

【作者名】

sHid

【あらすじ】

ドラえもん・のび太のバイオハザードOVERKILLの正式な続編的外伝小説です。

ゾンビや化け物でまみれたススキ原でドラえもんとのび太、そして仲間達は武器を持ち、街からの脱出を図るが…

結局は「」の舞（前書き）

また、書いてしましたw
ドラえもん のび太のバイオハザードOVERKILLの続編的外
伝な話です
結構、内容が変わっています

ススキヶ原、とある夏にて 晴れた日の夜中

時村力田の研究

色々あって何が何だかわからない…ママがいきなり襲ってきたのだ
遅れたな、僕は野比のび太。年は設定自体未定なので非公開という
ことで…

い散らかしていたのだ

そして、ママは今度は僕に襲いかかってきた！瞬時に隣に居た口ボット、ドラえもんが金属バットで殴り、ママは脳漿をまき散らして倒れた。人間じやない、何かがちぎゅう…じやない、違う

のび太（以降、のび）「ドラえもん、これは一体？」

確かだね。
」

漫画の映画やTVで見たことがあるシナリオ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス、恋愛してみると引っかかる

「一体、なんでこんな事に…何があつたんだね?」

のひ太は落ち着いて過程を思い出す

ド「えもんがいきなり大声を上げる

「のひーひーぐじした! どソじたんだ! いきなり! ドラえもんが眞の青の体だから眞の青」なる

「愚ニ狂した……今思ニ狂したあつのがまの」と話をす。アリヤ。

え！――？ マジで――？」

昨日のことである、いつものよつにジャイアンに虐められ、スネオにのけもの扱いされ、しづちゃんにそれを見られてて鼻で笑われ、散々だつた学校から帰ってきたところである

ドラえもんに泣きつこうとした矢先、ドラえもんがゲリラのようなかつこをしてAK-47を持って遊んでいたのだった

ドラ「革命だ！革命だあ！」

のび太はだめだこりや、と思いながら叫んでいるドラえもんを一本背負いをして止めさせた

のび「お前何やつてんだ？」

ドラ「いてて…ああ、のび太か、どうしたんだ？」

のび「ああ、そうだ！またジャイアンたちにいじめられたんだよ。」

ドラ「まったく、何をやつてているんだ！僕はな、君を立派な人にするためにここにやつてきたんだぞ、大体、君は…」

ペラペラペラペラ、ドラえもんの長話が始まる

そして、いきなりAK-47をのび太に渡す

ドラ「革命するんだよ。」

のび「いやいやいやいや、殺しはダメだろ、常識的に考えて。」

のび太はAKのグリップでドラえもんの頭を軽くたたく

のび「それより、アイシラを懲らしめる道具ないか？」

ドラ「しかたがないな～」

ドラえもんは何かバルサンみたいなものを取り出した

のび太がすかさず止める

のび「ちょっと待て！それBウイルスじゃないだろ？ な――？」

ドラ「え？ 違うけど…何、Bウイルスって？」

のび「ああ…違うならいいんだけど…――の舞は――めんだっぜ。」

ドラ「…？」

詳しく述べは前作である「OVERKILL」を参照
といつても、特に繋がっていない外伝的な話だけど…

「これはな、世界を面白くするための物だ。」

のび「へえ……まさか、せかいがおもろくなれるじゃないよね。」

「御名答。これは焚くと世界が面白くなるんだ。」

のび「何イイイイ〜〜〜！それ本物か！？」

ドラ「ああ……って、ああああああああああああああ！」

「間違えて、トウイルスばら撒いちまつたよ！」

のび「Tウイルス？Bウイルスじゃなくて？」

何？Bウイルスって？

のび「あ…それは」ひちの話…で、ナーソレ?」

人間の運命がどうなればいいのか知らない人たる。

のび「あやつじゃ... それやっぱへね?」

力又秀力又秀 それは販売文告 多分 足が悪い人の為のも のぞつてサ。 一

のび「ほえ～じゃあ、大丈夫だな。よかつたあ～前作の一の舞にな

ソンビや化け物は変形てしまひ、も
のぞとは知らず、ハシ

のび「何じやそりやあ

やなしが！前作の！

のび太が慌てふためく中、ドリえもんはずつと黙っていた

ドラ「まあまあ、年も明けた事だし。池田大作は死にかけていることだし。そう、くよくよするな。」

作者の嫌いな金正日死んだし。

のび「何言つてんだバカ。状況を考えるや、殺されかけたんだぞ、

しかモーの舞にてんこわ
るんじゃなーのかこれ。ー

「出るなーー！」

ドラえもんはのび太を殴る

のび「何なんだよ!」

ドラン 誰かに助けてもらひうんじやねえ！自分のケツは自分で拭け！

のひいや!あんたのせしたる」「のじ太はドラえもんこ飛び蹴りをかまう

アーティスト

ドラえもんは倒れる

ドッガーン！一階から凄まじい爆発音が聞こえ

た

結局は「Iの舞（後書き）

OVERKILLを読み返してみました

なんか…もうね…すじかつたですwww【悪い意味で】

THE LOST AND DAMNEDと一緒に書いていくので
いつも少し遅いかもしません

お互い様（前書き）

そろそれ、登場人物紹介でも書いて行こうかと…

お互い様

二階から爆音が聞こえる

のび「何だ今のはかが爆発したのか？」

のび太が二階へ向かう

どうやら、爆発があったのはのび太の部屋のようだが……？

のび太は自分の部屋を調べる

のび「何だ……特に何も灰になつてないじゃん……何じやいな今の……」
すると、ドラえもんがやつてきた、少し伸びをして畳に寝転がり、スマートフォンを開く

ドラ「はいもしもし」

のび「スマフォカヨウ~~~~びつくりしたわ、ホントマジで。」
のび太はため息をつくと、ドラえもんとともに畳に座る

：よく見るとのび太の机にアタッシュケースが置いてあった
ドラ「アンブレラからの伝言だ。」

ドラえもんがのび太に言つ

のび「アンブレラ？ ああ、あの大薬品企業じゃん、なんでそこから連絡が来るんだお？」

ドラ「それはやる夫な。ちょっと待て、スピーカー用意する。」
のび太が急いでドラえもんのスマートフォンにスピーカーをセッティングする

のび「よし、いいぞ！」

ドラ「繋がりましたあ！――！」

ドラえもんの大声が響く

社員『あ！ の！ も！ し！ も！ し！』

アンブレラ社員の声を大音量で響く

のび「うわあ！ 耳が死ぬ！」

ドラ「うるさすぎるぞ…音量下げりー。」

のび太は急いで下げる

のび【昨日、ブルーハーツとか尾崎豊の曲を大音量で聴いてたんだ
つた…】

氣を取り直して、テイク2

ドラ『すいません！ 借金はあしたに返しますー。893は連れてこな
いで！』

のび太がパシッ！ とドラえもんの頭を叩く

ドラ「いて！」

社員『…あのう、ふざけてます？』

行くよ！ 真剣に！ テイク3！！！

ドラ『あ、すいません、セールスはお断りです、いや、マジで。』

社員『あ…あの…私の話…ちゃんと聞いてますか？』

どうやら声は女人のようだった

ドラ『君きやわい～ね～！…』

カットカット！！

のび【バカ！ 真剣にやれよ！ アンブレラの人困つてんだろ！】

ドラ「すいすいいませんでしたすいま。」

ドラえもんは棒読みでスタッフたちに言い放つ

のび【ちゃんとやれバカ！ 頭おかしくなったのか？】

ドラ【かしこかしこになりましたかしこ。】

はい、本番！

ドラ『もしもし？ アンブレラの方ですか？』

社員『ああ…ハイ。ドラえもんさんですよね。』

ドラ『おう、何の用や？』

社員『なるほど…ええと…アンウレアの大切なトウウィルスばら
撒いたのあなたですか？』

ドラ『はい？』

社員はカツゼツダメダメで話してきた

「ドラ」…ああ、トウイルスですか？…そうつすけど…それがどないしたと？」

社員『ハイ、あにやた、たにひえんなどとしてくひえましたね。』
ドリえもんは笑いをこらえるの必死だった

のび【ああーもうーかわいー。】

ドラ「ク…ク…つて！？大変なこと！？どういうことつすかそれ！？」

笑い話ではない! どうやらヤバイことになつたようだ
どうも、二つ目は頃合いが悪

社員』とよいろでですね、ま…まてい…街の中にゾンビや化け物があわられたので証拠を消すためにきやく兵器を今からハッひやします。』

ドラ『か！核兵器！何だと！』

社員でもですね、今から核で吹き飛ばすのは容易い」となんですがそれでは面白くないので、3田間の猶予を与えます。

のび太は時刻表を見る、今は8月17日だから、20日の12時丁度か!?

社員『後、多分、ともだちとかも生きてると思い魔手からできと

「は、金流してくだしゃい。あ、それから、今から武器配りますね、街井に走斧とかば

で使ってください。もちろんゾンビだけでは面白くないので中ボス的な存在やラスボス的な存在が何匹かいます。じゃあ、後はがんば

『やあつてください。』

プツッ！電話が切れた

のび「つてか、最後までかみかみだつたな…社員の人。」

ドラ「ああ、結構可愛かつたな…つて、うんないとはどうでもいいやい！」

のび「そうだ、ドラえもん！秘密道具は？」

のび太はドラえもんのお腹を見る、アレ？ない。

ドラ「ああ、今、ぶつ壊れて修理中。」

のび「ぎゃふん！」

ドラえもんは空に向けて指をさす

ドラ「空は美しい、今日はすゞくいい天氣で、今日はぱっちりだな。」

のび「いやいやいや、全然バツチリじゃないから。」

のび太はアタッシュケースを畳に降ろし、ドラえもんの前で開ける

パカッ

中にはペネッタM92F2丁と弾薬、そして救急スプレー一本が入つてあつた

ドラ「おお！ペネッタだ！」

のび太はペネッタをとり、ドラえもんにも投げ渡す

のび「ん？ それにしても昨日持つてたAKは？」

ドラ「ああ、故障して使い物にならなくなつた。」

のび「ダメダメじゃん。」

のび太はがつくししながらリロードをする

ドラ「まあそう、くよくよするな、作者が龍が如くOF THE

ENDを中古で買った事だし。」

のび「どうでもいいんだよね。」

ドラ「お金がないんだよねwww」

最近金欠ぎみです…作者に100億円だけ…くださいっ！

外から呻き声が聞こえる、ドラえもんとのび太は外を見る

ドラ「やべえ…どんどん集まつてきやがつた。」

のび「どうするか? 強行突破するしかないか?」

ドラ「うーん…」

ガシャン! 一階の玄関ドアが破壊される音が聞こえた
ウウウウウ~~~~~

アアア~~~~~

のび「Oh! Fuck!」

ドラ「仕方ねえ! 2階から降りて脱出だ!」

ドラえもんが「先に行くぜ」といつて華麗に2階から外へ飛び降りた
さらに、ペネツタで周りに居たゾンビ達に向けて撃つ
ドラ「ああ、捕まるから来い!」

のび「くそ… どうなつても知らんぞ! どう…」

ゾンビ達がのび太たちの部屋に入ってきた!

のび太が飛び降りる、ドラえもんがナイスキヤツチする
のび「Thank you! 助かつたぜ。」

ドラ「近づいてきやがつたらケツを蹴り飛ばしてやれ。」
のび「了解だつぜ。」

のび太とドラえもんは近くに居るゾンビ達を片づける
頭が弱点のようで、頭を撃つと、頭が吹き飛んだ

のび「これからどうする?」

ドラ「とにかく、学校へ向かうしかないか… こつちだ。」

ドラえもんとのび太は学校へ向かう

お互い様（後書き）

龍が如く　O F T H E E N D は面白いんですがロードがクソ長い

現実なんだから豚バ「行わせ」たり前（前書き）

進展なしの回です w

ひさしぶりにジャイアンとスネオが登場！！

現実なんだから豚バ「行きは当たり前

スネ夫（以降スネ「ジャイアンよ、これは一体どうなつているんだ？」）

「ここはよくアーメに出てくる空き地である、ほら、土管が三つ積まれているあそこ

ジャイアン（以下ジャイ「わからん…が、危うく死ぬとこだつたぜ、ふう。」）

ジャイアンとスネオはスネオ宅で手に入れた銃を持って遊んでいたが、いきなりゾンビに襲われたのである

なんとか、銃の説明書を見ながらチマチマ撃っていたが、どんどん数が増えたので逃げるしかなかつた。ちなみに、スネオママはスネオによつて銃と一緒に入つてたナイフで眉間を突き刺されて死亡した

アタッシュケースの中には「ニコーナンプリボルバー」と「グロッケ17ハンドガン」が入つてあり、ナイフ一本、鉄パイプ一本が入つてあつた

ニコーナンプは反動が少なくめちゃくちゃ軽いので撃ちやすい、グロック17は若干軽い上に連射が利くので余裕だつた、的を狙うようにはじてば一気にサバゲー気分だ

しかし、ゾンビの数が多すぎる…ススキ原の住民が相手だから仕方がないが…

スネ「くそ…弾がもうなくなつてきた！」

スネオが持つのはニコーナンプである、何振り構わずに撃ちまくるのですぐ弾がなくなつていくのだ

ジャイ「もつと大事に使えよ。ほれ、これを使え！」

ジャイアンはスネオに少し弾薬を投げ渡す

スネ「スマン！恩に着る。」

ドン！ドン！

ジャイアンは正確に頭を狙い、一気に倒し、弾薬を節約する
近づいてきたゾンビには飛び蹴りを一発お見舞いし、鉄パイプで頭
を殴る

ジャイ「よし！だいぶ数が少なくなってきたな！」

スネ「そうだね。まあ、結構集まるところに来たからなあ…」

ジャイ「ゾンビ以外にも化け物が出て来なけりやいいんだが…」

そこへやつてきたのはRPG-7を持つたゾンビであつた！

ジャイ・スネ「なにいいいいいいいいいいいいいいいいいい
いいいい！？？？」

パシュー！RPG-7が発射された！

ドガーン！！

ジャイアンとスネオは何とか土管の中に隠れ、一命を取り留める

ジャイ「くそ！突っ込むぞ！」

ジャイアンは突っ込む！

スネ「僕はごめんだ！」

スネオは突っ込まない！

ジャイ「うおおおおおおおおおおおおおおおおおお…」

ジャイアンがグロックを乱射し、RPG-7を持つたゾンビを片づ
ける

スネ「Nice Work！」

スネオが後ろから拍手しながら出でくる

ジャイ「いやいやいや、お前なんでシツコマなかつたんだよ。」

スネ「いやいや、死ぬだろうが普通。」

ジャイ「オレ突っ込んだけど死んでないじゃん、普通に。」

スネ「どうでもいいんしゃい。」

ジャイ「ちよつと待てや。ホントは死ぬとこだつたんだよ。」

スネ「話はやめよう。」

ジャイ「いやだからわあ～」

スネオが土下座して謝った

スネ「Jの通り一堪忍してや兄ちゃん。Jのままで警察につかま
うねえ。

二二

ジャイ、何言ってんだお前は…

ピーポーピーポー！！

いきなり、サイレンを鳴らしながらバトカーがやってきた！

「アーヴィング、君がこの方へお見えになつたことは、

パートナーからの敬意が数回重複した

警官「動くな！警察だ！」

警官たちはジャイアンとスネオに手錠を掛ける

スネーだから言つたのに……

警官、鋏刀法違反で逮捕する

ジマイハノ井鶴の正體一卷二四

「転ずる事はできなかつたが

スネ「今さらじたばたしねえよ。」

ジャイ「何言つてんのお前wwwつてか、何で警官がwww」

ジャイアンとスネオはパトカーに乗せられてそのまま連行される

まあ、現実ではこうなるよなあ～

卷之十一

— a paradise —

ドリえもんはそうなんだ

のひ
一何を言つてゐんだあんたは

現実いやあ銃持てたゞ銃刀法違反で警察に捕まるたゞか

のび「知るか、状況をわきまえろ状況を。」

ドラ「だね。」

ドラえもんとのび太は大量のゾンビに囲まれているところであった

現実なんだから豚バ「行わせ」たり前（後書き）

静香たちも「んじん」登場しますよー

ジャイアンとスネオは警察に捕まつたので当分登場しません

ドランモンの頭は最強だつぜー（前書き）

TV画面の向こう側 かつこつけた大人たちが 子供達を 虐待した

替え歌なら絶対、問題はない

進展はあります www

静香登場！ですが…

ドラえもんの頭は最強だつぜ！

のび「どうすればよ」
「ざんすか？」

ドラ「うーん、ちょっとぴりピンチ。」

のび太とドラえもんは大量のゾンビに囲まれているようだ
のび「ペネシタちょっと撃つたぐらいじゃ減らねえべな、数が。」

ドラ「そうみたいだな。」

ドンドン！一応数発は撃つているがなかなか数が減らない。まあ、
ヘッドショットしまくっているんだが…

これまでも、顔面にケリ入れたり、路上におちてあつたものでブン
殴つたり、時々大声出して助けを呼ぼうとしたけどすぐに咳き込んでダメになる

ドラえもんは余裕をかましてブルーハーツの青空を聞いているが、
趣旨と違つ、アレは差別反対の歌だ、革命ではなかろう。つてか、
何でのんびり歌なんか聞いてんだ

のび「ヤバイ！死ぬ！」

ドラ「おいのび太！あのドラム缶を狙うぞ！」

ドラえもんはゾンビの周りに置かれているドラム缶を指差す
のび「おおーなるほど…Good idea！」

ドラ「ヒートスナイプで行くぞ！」

のび太とドラえもんはドラム缶に狙いを定める
のび「いつせーのーで…」

ドラ「オラア！」

のび太とドラえもんは一気に撃つ

ガキーン…しかし、当たつたのは当たつたのだが爆発しない。どう
いうことだ、映画とかゲームでは爆発するのに…

のび「アレー？上手くいかないな！」

ドラ「しまつた！ヒートケージが満タンじゃないんだつた！」

のび「それは完全に龍が如く〇ＴＥな。」

「どうやらヒートケージがたまつていよいよだ、非常にマズイ
そこへ救世主が現れた！」

のび「アレは何だあれ！？」

ドガドガドガ！パトカーがゾンビの群れに突っ込み、なぎ倒しながら去つて行つた

といつか、ジャイアンとスネオの姿も見えた、何でやねん

ドラ「おおー助かったか！」

のび「つてか、ジャイアンとスネオがいたぞ。」

ドラ「どうでもいいじゃん、んなの。」

ドラえもんは指をさす

ドラ「さあ、先に進もう。」

のび「やれやれ、どうなつてんだか…」

ドラえもんとのび太は再び歩き出す

ドラ「ちょっとストップ！」

ドラえもんがのび太を制止する

のび「どつた！？」

ドラ「ちょっとトイレ！」

のび太はズッコケる。何でロボットがトイレなんだ！

ドラ「もうダメなんだ、あ、漏れる。」

のび「それはバイオ4の空耳な。つてか、ロボットがトイレってオ
ま~~~~」

ドラえもんはのび太に自分のペニッタを渡し、足早にトイレへ駆け込んでいく

のび「二丁拳銃にしおつ！」とかな…阿部さんに氣をつせりよー

ドラ「ふう～間にあつた。」

ドラえもんは一気に洋式便所に駆け込む

ゾンビ「…」

ドラ「うおーゾンビだ！」

ゾンビが先に座っていた！しかし、ドラえもんは経つた今銃をのび太に渡したばかりである

ドラ「くそ！」

ドラえもんはゾンビに蹴りをいれる

だが、ゾンビがよろけるだけで対して効いていないようだ

ドラ「やばーどうしよ！」

ドラえもんは慌てふためく！

のび「しかし、二丁拳銃つてのも龍が如く〇丁Eの秋山みたいでかっこいいな。」

のび太は二丁拳銃でかっこつけていた。ドラえもんのことは知らず仕舞いである

そこへ…

パシュー！

いきなり、RPG-7の弾が飛んでくる！…

のび「うおあ！あぶねえ！」

のび太はかるうじてよけるが、奥にあるドラえもんが入っている公衆トイレにロケット砲があたる

のび「Oh-my-Shiit！ドラえもん！」

公衆トイレは粉々に吹き飛んだ

のび太はとっさに射撃手に向けてペネシタを一発撃つ！

一瞬の断末魔の後、バタツ！と倒れる人影一つ…

のび「…しづちゃんじゃん…」

のび太は深く見る…源静香であった。なんでこいつがRPG-7持つてんだ

まだ、息があるようだ

のび「死ねバカ。粗う奴が違うんだよ、このクソ女。」

のび太は倒れて苦しんでいる静香の腹をける

のび「ううードラえもん。」

のび太は悲しむ

「おお～い、のび太。」

アラえもんが平メナツラして登場した!!

「うえもんは静香を見ると、

「まあ～ね～でも、ちょっとビンビンビンビンたけど…」

のひてもなべて無事たつた
アラモトは頭を手でさする

アーティストの頭があ

のび「はるはるは その用があつたか。

「アーニー？」

のひ方は上へえせんの足を持ち上へえせんを持ち上へえせん

のび「すまん、ドリえもん。」

のジ「ジャイアソーテイソブジ」! オワア!!

「うわあああああああああああああああああああああああああああああああああ

「ああああああ

のび「上手やあ！」

「アラ、無茶すんじゃねえよー、死んじゃうだろー。」

丈夫ぢろう。

「あー、やっぱ。」

のび「二〇歳え。」

「ドア、センキューべリマッティ。」
のび太はドラえもんに救急スプレーを投げ渡す

ドラ「おーあそこニアタッショケースが！」

ドラえもんがアタッショケースを見つける。

開けてみるとサブマシンガン【マックー・サイレンサー付き】が入つてあつた

サブマシンガンの弾もちゃんと100発ほど入つてある

ドラ「やつたぜ。」

ドラえもんがマックーを取りかつこよく構える

のび「ドラえもん…ちょっとやべえ…」

ドラ「なんや？」

のび「あれを見ろ…デカい男がゾンビを引き連れてるぜー！」

ドラ「それ…去年やつた…オレ…ビビつて逃げたけど。」

のび「冗談はこままでにしようぜ…マジやばそーだ。」

目の前にはでかいゾンビではない…でかい筋肉ムキムキの大男だが、明らかに異常な肌の色をしている…そして、ゾンビを連れている…非常にヤバイ

ドラえもんとのび太は銃を構える！

アリスの頭は最強だつぜー（後書き）

色々疲れて更新できませんでした。すいません。
次はロスト・アンド・ダムド更新しますね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0791ba/>

ドラえもん のび太のバイオハザード OVERKILL Ver1.5
2012年1月14日22時50分発行